

【テーマ】 未来の自分をデザインする

【対象】 中学生

【所要時間】 25分

【紹介する本】

	書名	著者名	出版社	出版年
1	14歳からの仕事道	玄田 有史／著	イースト・プレス	2011
2	ふむふむ おしえて、お仕事！	三浦しをん／著	新潮社	2011
3	新13歳のハローワーク	村上 龍／著 はまの ゆか／絵	幻冬舎	2010
4	打撃投手 天才バッターの恋人と呼ばれた男たち	澤宮優／著	講談社	2011
5	メアリー・スミス	アンドレア・ユーレン／作 千葉 茂樹／訳	光村教育図書	2004

【シナリオ】

●導入

今日は、皆さんがこれからの進路や生き方を考え、少しでも自分の夢や目標を実現するためのヒントとなるように、「未来の自分をデザインする」というテーマで本を紹介します。

1 『14歳からの仕事道』

表紙を見せる

では、さっそく皆さんに質問します。あなたのなりたい職業や仕事はありますか？

おや？途端に表情が暗くなった人がいますね？きっと、こんなふうに感じたのではありませんか？

p.14 7行目を読む 【仕事について考えよう、なんて言われても、困ってしまいませんか。だいたい、どんな仕事がしたいかって聞かれても「自分には特にやりたいと思うような仕事がない」というのが、ほとんどじゃないでしょうか。～(中略)～けど、圧倒的多数の人は、そんな具体的な目標なんか、なかったりします。それに、あこがれの仕事はあっても、「自分には絶対無理だろうな」と思うほうが、ほとんどじゃないでしょうか。】

この本は、皆さんの気持ちに寄り添いながら、仕事をして生きていく道を歩んでいく心構えを、アドバイスしてくれる一冊です。もう少し本文を読んでみましょう。

p.24 8～12行目を読む 【「向いている仕事」と「やりがいのある仕事」は違うんです。自分に向いている仕事に就かないと、やりがいが得られないなんてことは、絶対ないんです。むしろ自分に向いているかどうかなんて、死ぬまでわからないのかもしれない。もっと言えば、向いているかどうかは、自分で判断するものではなくて、周りが決めてくれるものなんです。】

なりたい仕事が「自分に向いているかどうかなんて、死ぬまでわからないのかもしれない」という言葉に、「え？死ぬまでわからないの？」と不安になった人も、逆に「じゃあ今から焦って決めなくていいな」と気が楽になった人もいるかもしれませんね。

では、実際に仕事をしている大人たちはどう感じているのでしょうか。実際にその声を聞いてみましょう。

2 『ふむふむ おしえて、お仕事！』

表紙を見せる

皆さんも、職場体験の事前学習などで、仕事の内容や喜び、苦勞などを身近な人にインタビューし

た経験はありませんか。

この本は、直木賞作家の三浦しをんさんによる16人の働く女性たちへのインタビュー集です。

目次を見せて

中学生の人気職業ランキングにも出てくる、漫画アシスタントや編集者といった話題の職業をはじめ、靴職人やビール職人、フィギュア企画開発などあまり馴染みのない職業まで、実に多様な職業の人にインタビューしています。

そして、この本の面白いところは、インタビューされる側の皆さんの経歴も多彩で、現在の職業に至るまでの道のりも様々です。例えば、活版技師さんとのやりとりでは、

p.59 6行目～9行目を読む 【三浦 もともと「活字」や「活版印刷」に興味がありましたか？

大石 いえ、東京農大出身です。遺伝育種学を専攻しました。

三浦 えっ。い、いくしゅ……？（予想外の専攻科目に、思わずひらがなで問い返す）

大石 ツッコミどころの多い人生で、流れ流れていまに至ってます。】

大石さんは、農業の大学で勉強していたのに、活字や印刷という全く別のことを仕事にしているのですね。学生の時に学んだ分野の職業ではなくても、自分のやりたいことが見つければ方向転換して挑戦してみるという考え方もあることを、気負わずに自らの経験を通して語っています。

この本は、三浦しをんさんとインタビューを受ける女性たちとの会話が軽快で、肩肘張らずに読みものとしても楽しめますし、同時に様々な職業について知ることができます。

けれども、世の中にはもっともっとたくさんの職業があります。その中からどうやって自分に合うものを探せばいいのでしょうか。

3 『新13歳のハローワーク』

表紙を見せる

職業紹介事業を行う国の機関をハローワークと呼んでいますが、この本は、中学生のための職業図鑑です。

「はじめに」から、著者の村上龍氏のことばを紹介します。

p.23 28行目～30行目を読む 【この本にある数百の仕事から、あなたの好奇心の対象を探してみてください。あなたの好奇心の対象は、いつか具体的な仕事・職業に結びつき、そしてそれが果てしなく広い世界への「入り口」となることでしょう。】

この本は、自分はどうなことが好きなのか、興味や関心があるのかをもとに、皆さんが本当にやりたいことを見つけられるよう、工夫がされています。

例えば、学校の勉強のなかで国語が好きという人はいますか？

p.33 を見せて

【「国語」が好き・興味がある】という章では、

p.34 を見せて

随筆や物語を読むことが好きな人には、書店員、評論家、編集者、校正者、古本屋などの職業を紹介しています。

こうした「自分の好きなもの」から仕事について考える本はほかにもありますが、この本の面白いところは、「勉強なんかどの教科も嫌い！」「好きなものなんかなんにもない！」なんて人にも、

p.30～31 目次を見せて

【休み時間、放課後、学校行事が好き・ほっとする】という章や【何も好きじゃない、何にも興味がないと、がっかりした子のための特別編】という章も用意されているのです。一体、どんな職業が紹介されているか、気になりませんか？

この本にはたくさんの職業が紹介されていますが、載っていないものもまだまだあります。例えば皆さんの中に野球部の人、野球が好きなお人はいますか？では、打撃投手、バッティングピッチャーともいますが、この職業について知っている人はいますか？

4 『打撃投手 天才バッターの恋人と呼ばれた男たち』

表紙を見せる

打撃投手とは、プロ野球の選手の打撃練習のために投げるピッチャーのことで、日本のプロ野球にしかない制度です。通常の野球の試合ではピッチャーはバッターに撃たれないようにボールを投げますよね。けれども、打撃投手は練習の時にバッターに気持ち良く打ってもらうことを目的としています。「え？なんか簡単そう」と思った人はいませんか？それが違うのです。現役時代にピッチャーとして素晴らしい実績を残しても、打撃投手では通用しない人もいます。“天才バッターの恋人”と呼ばれるような一流の打撃投手に必要なワンランク高い専門の技術とは何なのでしょう。この本には様々な事情から打撃投手になった人々が登場します。華やかな舞台で活躍するスター選手と比べれば地味で、時に危険とも隣り合わせな仕事ですが、その仕事と向き合う人たちのカッコ良さを感じることができます。

さて、あらためてこの本の表紙を見てください。この写真はバッターですよね。打撃投手は、このバッターを影で支える裏方の職業であり、決して表に出ないということを象徴しているのではないのでしょうか。

さて、熟練した技術を生かした職業は、何も男性に限ったことではありません。

5 『メアリー・スミス』

表紙の絵と裏表紙の写真を見せる

これは、「ノッカー・アップ」という仕事をしていたメアリー・スミスという実在の女性をモデルにした絵本です。さあ、どんな仕事なのか、ちょっと読んでみます。

絵本を読み聞かせる

どうでしょう？メアリー・スミスの仕事がわかりましたか？

そう、まだ目覚まし時計がたやすく手に入らなかった時代に、時間どおりに起きるには工夫が必要でした。そこから生まれた仕事が、この「ノッカー・アップ」といって、頼まれた時間に起こしてまわる仕事です。それにしても、家の外から吹き矢のようにして豆を飛ばして窓に当て、その音で寝ている人を起こすなんてユニークですね。ノッカー・アップは、通常、長い棒で窓をたたいたりして起こすことが多かったそうですが、メアリー・スミスが選んだのは豆飛ばし。そのほうが早くて効率が良かったのでしょう。

人々の生活の役に立っているという誇りをもって、ノッカー・アップという仕事をこなすメアリー・スミスの姿を、皆さんはどう感じましたか？

●まとめ

紹介した本の表紙を順に見せる

今日は、「未来の自分をデザインする」というテーマで本を紹介しました。気になったら手に取ってみてください。

【その他の本】 こちらの本もおすすめです。また、ご自身で追加・差し替えをするなど工夫してみましょう。

- ・『中学生・高校生の仕事ガイド 2018-2019年版』進路情報研究会／編 桐書房 2017年
- ・『教えて、先輩！私の職業シリーズ』中経出版 2011年
- ・『フリーという生き方（岩波ジュニア新書）』岸川 真／著 岩波書店 2007年
- ・『NHK あしたをつかめ平成若者仕事図鑑』全3巻 NHK「あしたをつかめ」制作班／編 日本放送出版協会 2005～2009年